

令和5年度一般会計当初予算 ふるさとづくり応援基金活用事業一覧

活用基金総額 763,000千円

事業名	事業内容	ふるさとづくり応援基金活用額	
「移・職・住」促進事業	定住奨励金、リフォーム支援、3世代同居・近居促進による住居取得奨励に加え、IJUターン等の移住支援、新婚世帯への住居費用等支援、国の要綱で補助対象外となる浄化槽改修の継続支援、仕事と住居が一体となった空き家・空き工場の改修支援による移住定住の受け入れ体制の整備、乗合交通による移動手段の確保など、住みやすい町の向上を図る。	50,300千円	ふるさとを元気に楽しくする活動に関する事業 50,300千円
波佐見ファン拡大事業	陶器まつりだけではなくオンラインや分散型での陶磁器販売、新商品やコラボ商品の開発、新幹線とタイアップ、航空会社との連携、東大生・京大生の感性・SNSを活用した新しい魅力発信、憩いの場となる桜づつみ河川公園を活用したONSEN・ガストロノミーウォーキング、観光拠点や温泉設備の整備・改修支援により、「波佐見ファン」を拡大する。	44,600千円	ふるさとを元気に楽しくする活動に関する事業 44,600千円
SDGs推進事業	世界共通の17の目標であるSDGsへの取組として、喫緊の課題である廃石膏型のリサイクルについて、前年度に引き続き外部専門家の意見を取り入れた窯業と農業分野での地域内循環モデル構築に取り組むとともに、リサイクルに伴う費用を支援する。	8,700千円	ふるさとを元気に楽しくする活動に関する事業 8,700千円
窯業振興事業	窯業の産地力向上や窯業人材の育成について、継続して取り組む。	11,700千円	ふるさとを元気に楽しくする活動に関する事業 11,700千円
農畜産業振興事業	新規就農者、経営継承・発展に向けた支援、肥育牛経営安定支援及び繁殖牛導入支援により、産地力強化及び生産地の確立を目指す。 また、農業資材高騰支援により経営の安定を図るとともに、高付加価値をつけたプレミアム牛の生産体制の構築に取り組む。	10,700千円	ふるさとを元気に楽しくする活動に関する事業 10,700千円
中小企業・小規模事業者支援事業	経営安定を図るための利子補給や信用保証料を支援、商店振興会の活性化支援を行うとともに、雇用増に寄与する事業者に対して事業資金の一部を支援し、事業拡充の促進を図る。	13,500千円	ふるさとを元気に楽しくする活動に関する事業 13,500千円
町並み整備事業	道路拡幅等の道路改良、桜づつみ河川公園の路面改修、老朽化に伴う公園施設の補修、その他、道路の樹木剪定等を行い、町並みを整備する。	132,100千円	懐かしい景観、新しい町並み整備に関する事業 132,100千円
保育士支援事業	保育士不足による待機児童を解消するために、保育士確保に向けた取り組みを支援する。	9,200千円	次世代を担う子供たちの健全育成に関する事業 9,200千円
子育て支援事業	母子健康手帳アプリの導入、長崎短期大学と連携した講座、家庭教育講演、誕生祝品として好評である波佐見焼の離乳食プレート、子ども・子育て支援事業計画策定、妊婦の健口への意識向上を目的とした唾液検査装置の購入、遊具施設の更新、園児の送迎バス置き去り防止のためのプザー購入に対して支援する。	46,900千円	次世代を担う子供たちの健全育成に関する事業 46,900千円
学生等支援事業	波佐見高校支援、大学生等の奨学金返還支援、小学校スクールバス運行業務、しまへの修学旅行、図書館図書購入、地産地消推進及び義務教育期間中の第2子以降における学校給食費について支援する。	56,200千円	次世代を担う子供たちの健全育成に関する事業 56,200千円
長寿支援事業	健康寿命延伸のための健康マイレージ事業の実施、敬老行事への支援、要介護3以上の在宅介護に係る家族介護用品の支援、温泉施設利用、高齢者安全運転支援及び運転免許返納に係る奨励品やタクシー利用について支援する。	32,100千円	その他町長が認める事業 32,100千円

令和5年度一般会計当初予算 ふるさとづくり応援基金活用事業一覧

活用基金総額 763,000千円

事業名	事業内容	ふるさとづくり応援基金活用額	
人づくり推進事業	5～6か月の乳児へ絵本を贈呈するブックスタート事業、町内小学生の基礎運動能力向上を目指したジュニア体育教室や英語に親しむ英会話体験、中学生においては、作陶・窯焚きを体験するやきもの文化体験、実践的な英会話を学ぶイングリッシュキャンプ、中学生以上を対象としたドローン講座、子どもたちの感性を磨く芸術鑑賞（音楽等）の公演、生涯学習講座のほか、学校教育と地域の協働活動の推進を支援する。	10,200千円	次世代を担う子供たちの健全育成に関する事業 10,200千円
学力向上対策事業	標準学力調査による学力分析、英語検定・漢字検定実施による語学力向上、夏季及び冬季休業中に学習する教材のほか、英語指導力の向上を図るための外部講師招聘により基礎学力の向上を図る。	19,400千円	次世代を担う子供たちの健全育成に関する事業 19,400千円
教育環境整備事業	学校サポーターの導入により学習しやすい環境構築を図るほか、各学校の設備改修、中学校の教科書・指導書更新、各学校の備品購入、通学路整備（カラー舗装）を行う。	16,200千円	次世代を担う子供たちの健全育成に関する事業 16,200千円
給食センター設備等充実事業	子どもたちへ提供する食の安全や安定供給を徹底するため、老朽化した設備等の更新や有事に備え非常食を確保する。	22,800千円	次世代を担う子供たちの健全育成に関する事業 22,800千円
スポーツ・文化推進事業	スポーツ少年団や中学校部活動への支援、小中高校生が全国大会等へ出場する際の支援、鴻ノ巣公園のナイター照明の更新及びテニスコートのメンテナンスを行う。 また、講堂を利用した文化芸術による地域ブランディング事業、無形民俗文化財（民謡、波佐見節等）の映像記録、中尾郷・鬼木郷の文化的景観保存に向けた継続調査、歴史文化交流館に展示する展示品の解説書となる図録作成のほか、歴史ある皿山人形浄瑠璃の公演を実施する。	20,700千円	未来に伝えたい 伝統文化の保存、 整備に関する事業 7,500千円  次世代を担う子供たちの健全育成に関する事業 11,000千円  その他町長が認める事業 2,200千円
D X推進事業	自治体D X推進のもと、コンサル等によるデジタル化に向けた体制を整えるとともに、LINEを活用した情報伝達や予約システム、各種証明書のコンビニ交付、電子入札、総合文化会館の施設予約及びキャッシュレス化によりD Xを推進する。 また、学校教育支援としてタブレット活用円滑化のためのICT支援員配置や電子教材の導入、子どもたちの家庭学習推進を図るインターネット初期設置支援や就学援助世帯へのモバイルルーター通信費を支援する。	152,900千円	次世代を担う子供たちの健全育成に関する事業 13,500千円  その他町長が必要と認める事業 139,400千円
安心安全まちづくり事業	学校や保育施設等の感染症対策、自治会要望の交通安全施設（ガードレールやカーブミラー）や防犯灯の整備、災害時受援等計画書やハザードマップの作成、防災用品やA E Dの購入、有害鳥獣対策、道路・橋梁の点検や修繕、交通量が多い路線の舗装更新、農道・河川の整備、野良猫の不妊・去勢への支援、土砂撤去や空き家解体に対する支援等により、安心安全なまちづくりを目指す。	104,800千円	次世代を担う子供たちの健全育成に関する事業 2,200千円  その他町長が必要と認める事業 102,600千円

※上記の活用事業は、事業費の一部に基金を活用する事業を含む。